

6月

保健センターからの  
お知らせ



▶会場：保健センター ▶問い合わせ：役場健康推進課 ☎385-2111

予防接種

- 午後1時～2時20分(受付)
  - 三種混合(1期追加)
    - 6月15日(金)
    - 対象：12年6月～11月生
    - ※1期初回①②③も可能です。
  - 風しん 6月25日(月)
    - 対象：初回11年7月～12年4月生
    - ※上記の予防接種は、法定年齢に達しているお子さんも接種可能です。
  - 日本脳炎②
    - 6月11日(月)・6月13日(火)
    - 対象：満3歳以上
    - ※1期初回①・追加も可能です。
  - 日本脳炎(1期追加)
    - 7月2日(月)
    - 対象：満3歳以上
    - ※1期初回①②も可能です。

育児相談

○午前9時30分～11時  
6月5日(火)・6月19日(火)  
子育ての悩みを一人で抱えこまず、保健婦等と話し合ひましょう。

乳幼児健診

- 午後1時～1時30分(受付)
  - 乳児健診 6月22日(金)
    - 対象：12年6月・11月/13年3月生
  - 1歳6か月児健診 6月18日(月)
    - 対象：11年11月・12月生
  - 幼児歯科健診 6月12日(火)
    - 対象：8年12月/9年6月・12月/10年12月/11年6月生

- 午前9時30分～9時45分(受付)
  - 2歳児健診 6月7日(木)
    - 対象：11年4月・5月・6月生

健康相談

6月12日(火) 午前9時30分～11時  
血圧・体脂肪測定等で健康の確認をしたり、健康づくりプランを相談したりします。また、病気で心配のある人の相談に応じます。

機能訓練教室

6月15日(金)・6月21日(木)  
午前10時～午後3時  
対象：機能回復訓練教室参加登録者

母子健康手帳交付

○午後1時～1時30分(受付)  
6月19日(火)  
持参する物…妊娠届出書、印鑑、健康保険証、口座番号(医療費振込の為)  
※ 歯科健診があります。

母親学級

○午後1時10分～1時30分(受付)  
6月5日(火)  
対象：平成13年7月～10月出産予定の方

献血にご協力を!

6月7日(木)  
午前9時30分～10時30分 横越町役場  
午後2時30分～4時30分 株塚田牛乳

6月の休日当番医院

(診療時間 午前9時～午後5時)

日	当番医院	電話番号
3	みどり町内科 (亀田町緑町2)	382-5225
10	富樫耳鼻科 (亀田町四ツ興野1)	381-7373
17	片桐医院 (亀田町水道町1)	381-3320
24	おおむら内科 (亀田町四ツ興野2)	381-2121
7/1	よこごし母子クリニック (横越町川根町3)	385-3888

◎次の医院は、医師在院のときは、緊急を要する診療に応じます。  
・亀田第一病院(亀田町西町2) ☎382-3111  
・阿部医院(亀田町新明町5) ☎381-2045  
・佐藤医院(亀田町下早通) ☎381-2878

小児科 日曜日当番医療機関

●電話受付時間 午前9時～午後4時  
●診療時間 午前9時30分～11時30分まで 午後3時～5時

第1日曜日	みと小児科クリニック	白根市	☎025-370-1055
第2日曜日	さとう小児科医院	横越町	☎025-385-5200
第3日曜日	小児科高野クリニック	新津市	☎0250-23-3011
第4日曜日	ささがわ小児科クリニック	亀田町	☎025-383-5500
第5日曜日	下越病院小児科	新津市	☎0250-22-4711

6月26日は国際麻薬乱用撲滅デー 麻薬は心も体もボロボロにします。



田高 直輝ちゃん(苗ヶ丘) 福田 絵理さん  
江口 広都ちゃん(二本木4) 美津江さん  
吉田 祐珠ちゃん(苗ヶ丘) 美津江さん



松本 強志ちゃん(苗ヶ丘) 和子さん  
田村 理奈ちゃん(藤山) 久美子さん

このコーナーでは、3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんと保護者の方を紹介しています。

ほくも わたしも キラリツキ

健康シリーズ71 結核緊急事態宣言

結核は、かつては日本人の死因の第一位を占め、生命を脅かす恐ろしい病気と言われていました。

その後、薬の開発や生活水準等の向上により患者は1960年頃から激減し、結核による死亡も減り、国民の結核に対する恐怖心も薄らいでいきました。

しかし、1970年代後半から患者数の減少速度はにぶり、1999年には毎年4万人ほどの人が結核患者として保健所に届けられ、約3千人が結核で亡くなっています。結核は減少傾向から一転して増加傾向を示すようになってきました。

一方、医療機関や高齢者施設での集団感染のニュースが、新聞やテレビなどで話題になっています。結核に対する関心の低さによる受診の遅れ・結核専門医の減少による診断の遅れなどによること、家族内感染や集団感染を起こす大きな要因となっています。

若年者間による感染のまん延が深刻な問題となっています。

「結核緊急事態宣言」を発令しました。

結核の死亡率を見ると、日本では最大の感染症であることは昔も今も変わっていません。近年の傾向として、新発生患者の割合に、高校生・大学生を含む若者の発病が問題となっており、若年者間による感染のまん延が深刻な問題となっています。

一方、医療機関や高齢者施設での集団感染のニュースが、新聞やテレビなどで話題になっています。結核に対する関心の低さによる受診の遅れ・結核専門医の減少による診断の遅れなどによること、家族内感染や集団感染を起こす大きな要因となっています。

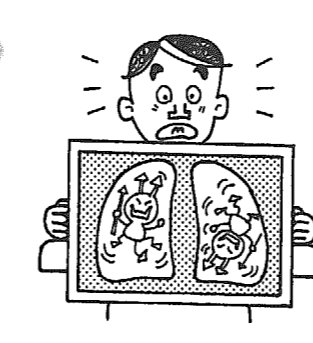
若年者間による感染のまん延が深刻な問題となっています。

「結核緊急事態宣言」を発令しました。

結核の死亡率を見ると、日本では最大の感染症であることは昔も今も変わっていません。近年の傾向として、新発生患者の割合に、高校生・大学生を含む若者の発病が問題となっており、若年者間による感染のまん延が深刻な問題となっています。

一方、医療機関や高齢者施設での集団感染のニュースが、新聞やテレビなどで話題になっています。結核に対する関心の低さによる受診の遅れ・結核専門医の減少による診断の遅れなどによること、家族内感染や集団感染を起こす大きな要因となっています。

結核の発病と感染



恐怖心と世間体を心配し、どうしてよいか分からずにパニック状態になる方も少なくありません。感染源は、結核菌を持った人が咳やくしゃみで撒き散らす「しぶき」の中に入っています。その「しぶき」を近くにいた人が吸い込んで、それが肺の一番奥に到達して感染します。感染してもすぐ発病につながるかは限りません。感染しても発病するまでに、早くても6か月以上かかります。悪化して菌が咳やくしゃみにより体外に排出(排菌)されるようになると、家族や周囲の人に感染させる危険が高くなります。多くの人は、BCGによる免疫や結核菌に対する体の免疫の働きで、菌を閉じ込めてしまい、発病を抑えることができます。感染しても発病するのは10人に1人くらいの割合と言われています。

しかし、高齢になり、体力や抵抗力が落ちてくると、閉じ込められていた菌が活動を始める

早期発見は健康診断から

早期発見・早期治療が一番の防衛策です。町や職場での胸部X線撮影検査を受診することは、自分の健康のみならず、周囲への感染を未然に防止するための大切な行動です。

自分だけでなく、家族や親しい人たち・愛する人たちへの感染予防にもなります。日頃から適度な運動や休養・バランスのとれた食事を心がけていきましょう。町では、6月26日から総合健診が始まります。

毎年1回は必ず健康診断を受け、結核を予防しましょう。

結核の初期症状は、咳・痰・熱・だるさ等風邪の症状によく似ています。この様な症状が2週間以上続く場合は、医療機関への受診をお勧めします。症状が進むと血痰や胸の痛み等の症状が出てきます。

結核の初期症状は、咳・痰・熱・だるさ等風邪の症状によく似ています。この様な症状が2週間以上続く場合は、医療機関への受診をお勧めします。症状が進むと血痰や胸の痛み等の症状が出てきます。

1年に1回は必ず健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。